

# ニュースレター 事業短信

from AIKOH

2017(平成 29)年 12 月 15 日 (金) No.144

<発信者> 社会福祉法人愛光理事長・法澤奉典  
043・484・6391(本部) / 043・484・6571(理事長室直通)  
(URL) <http://www.rc-aikoh.or.jp/>  
(Eメール) [mail@rc-aikoh.or.jp](mailto:mail@rc-aikoh.or.jp)

## CONTENTS (今月号の内容)

- \* 日誌抄録 (1 頁) : (2017 年 11 月 1 日～)
- \* おもな動き (2 頁) :
  - ・ 監査結果
  - ・ 補正予算案など承認 (理事会・評議員会)
  - ・ 職員状況 (2017 年 11 月中)
- \* 現場の内外で (3 頁) :
  - ・ 「れんげ亭」本日営業中
  - ・ 「ニヤリほっと」
- \* 情報&ニュース (4 頁) :
  - ・ あいとひかりのコンサート「ダ・カーポ」開催のお知らせ
- \* マイタウン (5 頁) :
  - ・ 住民の求める福祉資源とは? (地域ケア会議)
  - ・ サッカー通じて健やかに
- \* 三代目燈台守 (6 頁) :
  - ・ ホリエモンの「暴言」を考える

## ▽日誌抄録 (2017. 11. 1～)

月/日 (曜)	記事
11/1 (水)	グループホーム「山王の家」オープン / 特別国会開会・第 4 次安倍内閣発足
2 (木)	千葉県指導監査(本部・ルミエール・めいわ・リホープ・はちす苑)
3 (金)	文化の日
4 (土)	バリアフリー映画会(『湯を沸かすほどの熱い愛』:視障センター)
5 (日)	根郷福祉まつり(南部地域福祉センター)
7 (火)	立冬
8 (水)	サービス(管理)責任者会議(本部第 1 会議室)
22 (水)	施設長会議(第 1 会議室) / 全国社会福祉大会(東京)
23 (木)	勤労感謝の日
25 (土)	社会福祉法人光友会創設 40 周年記念式(藤沢市)
27 (月)	愛光・千視協グループ法人協議会(本部役員室)
28 (火)	2018 年度採用職員選考
30 (木)	職員研修会(リスクマネジメント:はちす苑千田ホール)
12/1 (金)	2017 年新語・流行語大賞発表:“インスタ映え”“付度(そんたく)”
2 (土)	理事会(本部第 1 会議室)
9 (土)	特別国会閉会
10 (日)	評議員会(本部第 1 会議室)

いつの頃からか、年の瀬に向かうカウントダウンの始まりとして定着した感のある「新語・流行語大賞」の発表がありました。「村度（そんたく）」と「インスタ映え」の2語が年間大賞だとか。この2つの言葉を前にして、アナログ世代の感想。前者に対しては「なるほど」。そして後者に対して「？」。

さて2017年（平成29年）も残り2週間ほど。

ある人が言っていました。1年間の長さの実感は、年齢に反比例すると。つまり、私で言えば、生まれたときの1年と比べて70分の1の速さで今年が過ぎたこととなります。ということは、「あっというまに過ぎて…」なんていうボヤキを口にするのは年のせい？…

## ▽おもな動き

### 監査結果

11月2日、法令に基づく千葉県定期指導監査が実施されました。対象事業は法人本部とルミエール・めいわ・リホープ・はちす苑の各施設でした。監査当日は、現地視察と書類検査が行われ、口頭での助言・指導をいただきました。後日（11月15日）、改めて文書で指導のあった事項は次のとおりです。

- ① 評議員並びに理事及び監事の選任に当たり、暴力団員等反社会的勢力の者でないことについて誓約書等の書面により確認すること。
- ② 経理規程細則について、経理規程の改正に伴い見直しを行うこと。

なお見直しに当たっては全国社会福祉法人経営者協議会が作成した「平成29年版社会福祉法人モデル経理規程細則」を参考に改めること。

以上の指摘事項について、関係書類・規程を改め、必要な改善措置を講じました。なお、ルミエール、めいわ、リホープ、はちす苑の各施設の運営管理状況については文書による指摘等はありませんでした。

### 補正予算案など承認（理事会・評議員会）

本年度上半期（4～9月）の実績速報値を踏まえた事業の進捗状況などについての協議を主たる議案とする理事会が12月2日に行われました。その理事会において12月10日に評議員会を招集することも決まりました。理事会、評議員会において報告・審議された事項は次のとおりです。

- ① 業務報告（理事長及び各執行理事）
- ② 定款変更（「山王の家」竣工に伴う基本財産追加）
- ③ 本年度第1次補正予算案
- ④ 「園芸棟」新築工事に係る業者選定（評議員会では報告事項）
- ⑤ 就業規則改正（「山王の家」職員勤務時間の記載：評議員会では報告事項）
- ⑥ 報告事項（事故苦情、人事ほか）

以上の議案及び報告事項は理事会、評議員会において原案通り承認されました。

■職員状況 (2017年11月中)	*採用：3（パート3） *退職：1（パート1） *2017年11月30日現在：職員現員360人 （正職159／サポート又は常勤嘱託39／パート又は非常勤嘱託162） *育児休業：2（めいわ1・ルミエール1） *休職：1
----------------------	---

## ▽現場の内外で

### 「れんげ亭」本日営業中

はちす苑の玄関に入って正面にある喫茶スペース「れんげ亭」をご存知でしょうか。

開設当初、ボランティアコーディネーターのTさんが“看板娘”として営業を担当する癒しと寛ぎの空間がそこには存在し、足を運ぶ多くの利用者で賑わっていたそうです。メニューにはお酒もあったとか…。しかし諸般の事情でれんげ亭の暖簾は長い間下ろされたままになっていました。そして、人々の記憶からもその名が忘れ去られた昨今でした。久しぶりに今年度初めより、メニューはコーヒーのみですが営業を再開しています。

利用者同士が誘い合って立ち寄りられたり、偶然利用時間が重なった顔なじみの方同士でお話が弾み、そこに仕事終わりの職員が合流したり、活動を終えたボランティアの皆様方が一息つかれたり、笑顔と楽しい会話が溢れる空間となっているのです。そして、時にはお一人様で雑誌を読みながら静かなひと時を過ごされている方もいらっしゃいます。ご家族の面会の場としても活用されている場面もよく見かけるようになり、入居されているご主人様に面会にいらした奥様が、ご夫婦仲睦まじくカウンターに向かいコーヒーを飲みながら、ゆったりと会話されている姿を拝見すると、見ている我々の心も和みます。

あるショートステイを利用されている方から

「街の喫茶店には行けなくなってしまったけど、はちす苑に泊まりに行くと喫茶店にも行った気分になれるから、利用するのが楽しみなんだよ」

とお話していただきました。何うと、れんげ亭では利用者ともスタッフとも「新しい出会い」があり、それが何よりも嬉しいとのことでした。

これからもれんげ亭が癒しと寛ぎの場であることはもちろんのこと、はちす苑を利用される全ての方にとって大切な場所であり続けることを願うばかりです。

(11月月報より抜粋：はちす苑課長 戸室輝大)

### 「ニヤリほっと」

事故防止に日々神経を配る現場では、効果を上げるための手法として「ヒヤリハット」、つまりもう少しで大きな事故になりかねなかったという体験を率直に報告し合う職場環境づくりを大事にしています。そのちょっと緊張を強いられる「ヒヤリハット」のパロディーが、思わず微笑みたくなるような、現場の「ちょっといい話」。それが学童保育所での「ニヤリほっと」です。

〇〇月〇日、以前在籍していた学童保育所に久しぶりに顔を見せた中学生のMさん。職員を相手に、学校であった困りごとやうまくいかないことなどを話し、すこしすっきりした表情をして帰って行った。

〇〇月△日、学童保育所敷地内で職員が草むしりをしていると、側を一旦通り過ぎた男子中学生が、引き返して来た。偶然今ここを通りかかったように話しかけてきて、学校でのとりとめもない話をして帰って行った。

〇〇月×日、小学校のイベントに学童保育所が参加し、後片付けの時間になった時、ある中学3年生の男子生徒が手伝ってくれた。彼が帰る際にこう一言挨拶していった。

「以前、僕はこの学童に在籍していました」

かつて利用していた児童が成長し、よりたくましくなり、且つ懐かしんでくれるその気持ちに出会い、思わず“ニヤリほっと”。

(学童保育所エリア主任・齋藤理江／久保りえ)

▽情報&ニュース

愛の灯台基金チャリティーコンサート



あいちびかり  
コンサート  
2018

ダ・カーポ

DA CAPO



2018. 4. 21 (土)

13:30 開場

14:00 開演

3,000円 <全席自由>

四街道市文化センター

(四街道市大日396 電話 043-423-1618)

チケット販売先

四街道市文化センター  
(043-423-1618)

全国ファミリーマート  
チケットペイ

右記QRコードを読取機能  
付き携帯やスマートフォン  
で読み取ると、チケットペイ  
に接続されご購入できます。



program

結婚するって本当ですか  
野に咲く花のように  
～ニューアルバム「日本のうたファンタジー」より～  
みかんの花咲く丘・糸・いつでも夢を 他

お問い合わせ

主催 愛の灯台基金 (社会福祉法人愛光 後援会)  
〒285-0807 千葉県佐倉市山王2-37-9 後援会事務局  
電話 043-484-6391 FAX 043-484-6396  
Mail toudai@rc-aikoh.or.jp

後援: 佐倉市/四街道市/佐倉市社会福祉協議会/四街道市社会福祉協議会/千葉県視覚障害者福祉協会

## ▽マイタウン

### 住民が求める福祉資源とは？「地域ケア会議」開催

多分、一般にはあまりなじみがない会議の名称だと思います。「地域ケア会議」は、制度上介護保険制度スタート時には位置づけられていたのですが、なかなか身近なものにはなっていないと思います。近年、地域包括ケアシステムの推進が強調される中で注目され、法律上もその設置と開催が「努力義務」と明記されました。(2015年4月介護保険法改正施行時)

佐倉市南部地域包括支援センターでは、このほど「山王地区」を対象に、地域ケア会議を開催しました。以下はその実施報告です。

＜(南部地域包括支援センターでは)社会福祉士が中心となって、「地域ケア会議」の準備を進めていたが、11月29日に山王地区の地域ケア会議を開催することができた。会議には、住民だけでなく、郵便局、京葉銀行、根郷中学校、敬愛短大等も参加いただけた。今回は山王地区の資源の確認と課題の抽出までを行い、次回は「10年後の山王」について、課題解決に向けた取り組み等を考えていく予定である。初めての地域ケア会議だったため、職員は不安と緊張で一杯であったが、良いスタートが切れたと感じている。

総合相談センターの今年のスローガンは「共に考え、共に歩む」である。まずは歩き始めることができたが、この一歩がいずれ大きな一歩になるように支えていきたい＞

(総合相談センター所長・近藤美貴)

### サッカー通じて健やかに

第25回根郷ガーデンカップサッカー大会(主催・FC根郷)が、11月19日(日曜日)、山王小学校グラウンドを会場に開催されました。佐倉市内はもとより市外からも少年サッカーチームが参加。幸い好天に恵まれて、小学校1・2年生のちびっ子たちが元気な歓声を上げながらボールを追いかけて走り回りました。参加した選手数は45チーム367名。主催者の「FC根郷」は地元根郷地区のサッカー愛好家有志を中心にした団体で、このサッカー大会も児童健全育成事業の一環としてとして行われたものです。

後援会(愛の灯台基金)では、大会主催者のFC根郷からの協賛要請を受け、趣旨に賛同して、優勝チームにトロフィーを贈ることになりました。大会当日、熱戦の末優勝したチームに対して、西原副理事長からトロフィーの贈呈が行われ、ちびっ子たちの健闘を讃えました。

## ホリエモンの「暴言」を考える

この人、よほど世間を騒がせる星の下に縁があるらしい。その言動に世の常識人たちが眉をひそめ、素早く反応し、バッシングの嵐を浴びせる。しかしホリエモンこと堀江貴文氏は一向にめげる気配がない。私はこれまで彼が発してきた“確信犯的暴言”に全面的に同意はしないが、そこに「世間のホンネ」を見せつけられる思いがして、その都度ハッとさせられてきた。

今回の「ネット炎上」騒動は、10月12日朝日新聞デジタルの記事が発端だった。

『「なんで保育士の給料は低いと思う？」  
低賃金で負の連鎖』

記事にはこういう見出しがつけられていた。これに対するホリエモンの一言。

<誰にでも出来る仕事だからです>

殺到した批判―「そんなに言うんなら1か月保育士をやってみて」「国家資格が必要だから誰でも出来るわけじゃない」…保育士を愚弄するな、という反発がほとんどだった。

こんな批判くらいで引き下がらないホリエモンの反論と弁明は以下のとおり。

<誰でも（やろうとしたら大抵の人は）出来る（大変かもしれない）仕事だから希少性が低く（コンビニバイトなどと同様に）給料が上がらない構造になっている>

丁寧に言うところになると、カッコをつけて補足した。さらに付け加えてこうも言う。

<じゃあ誰が金を出すんだよ、って話だろ…お前もって保育料払えるか？払うぐらいなら自分で育てるわってならない？>

<これ以上保育への補助金を増やすって話になると、子育て家庭の受益者負担では絶対無理だし、結局世代間での所得移転的な税負担になるので、政治的には非常にハードルの高い話になるよね。それもいま保育士が食い詰めているのなら別だけど食い詰めているわけでもないからね>

彼の指摘は本質をついている面もある。市場原理が働くところでは、需要と供給があって、そこで商品が売り買いされる。需要が高くて供給が不足していれば商品の価格は上がり、売り手の収入が増えて従業員の給料も上がるはずだ。しかし、保育や介護・福祉サービスの価格（利用料）には公定価格が適用されている。現在の負担額だと保育士の給料はこの程度にしかならない。かといって受益者の負担増には反対。じゃあ補助金を増やせばいいかということ、それは増税につながり、国民（納税者）の納得が得られにくい。

<ちゃんと読めよ。補助金がこれ以上増やせないのも市場原理だろ。これ以上補助金増やそうとしたら自分でやるわ、あるいは自分でやれよってなるわけよ>

<そういう感情論では、給料のギャップは埋まらないぜ。税金で賄われてんだから。金は出したくない、でも給料は増えて欲しいって無理ゲーやろ笑>

この人、私のような凡人とは比べ物にならないくらい頭が回転し、理屈では負けないという並々ならぬ自信がうかがえる。ここでは保育士の給料がテーマになっているが、仕事の評価と報酬決定の仕組みは福祉分野に共通している。だからここ数年来話題の「介護職の低賃金」問題と本質は同じだと思う。ホリエモンの発言に思わず惹きつけられたのはそれゆえである。

福祉職に自己実現の道を見出そうと、志を持続させたいと願っている者には、この「誰にでもできる仕事だから」をどう受け止められるだろう。おそらく「そんな暴論にとりあっている暇はない」「このようにネットの世界で騒がれているような些事に反応するのも大人げない話だ」と思うに違いない。

（以下次号）

（法澤 奉典・のりざわ とものり）